



東京赤坂ロータリークラブ
Weekly Report

2012~2013年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No. 1191 / 2012. 7. 27

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012年 7月 27日 第1218回

卓話:「映画について」

キネマ旬報社 元会長・顧問 小林 光氏

●前回報告/2012年 7月 20日 第1217回例会

第2回 クラブ協議会 13:10~14:30

テーマ:「会員増強と維持」



会長報告:

- 元会員の荒木昭文氏が7月13日逝去いたしました。ご冥福をお祈りし、黙祷をしたいと思います。
- 荒木昭文氏のお別れ会が8月20日都ホテル東京で開催される予定です。詳細がわかりましたらご連絡いたします。
- 田辺賢三氏のご逝去につきまして、東京南RC村井会長、東京麻布RC加藤会長へご報告いたしました。当クラブからは御仏前へお花を送りし、奥様より御礼のお電話をいただきました。
- RI第2750地区より、大日方様、橋本様へ委嘱状が届きました。大日方様は「クラブ支援委員会委員」と、「クラブ支援委員会・社会奉仕委員会 委員長」として任命されました。橋本様は「クラブ支援委員会・社会奉仕委員会 副委員長」として任命されました。



5. ニュージーランド オークランドRC 村上桂子氏とバナー交換



親睦活動委員会:(村山委員長)

次回火曜会は8月7日(火)18:30~です。今回は重村智計先生にパネラーをお願いし「続・北朝鮮の近況について」というテーマで話していただきます。

親睦活動委員会:(秋吉副委員長)

暑気払いがいよいよ来週です。出欠の最後の返事を本日までお願いします。また、9月5日ゴルフですが現状1組ですので、振るって参加お願いします。

クラブ会報委員会:(藤井委員)

新年度になりましたので今年も「めんぼう」のご投稿を募集いたします。お互いのプライベートなことや、近況報告など意外と知らないことを是非文字におこして、みなさんに広く目にしていただく機会としてご投稿をお考えください。「あの人に、こんなテーマで書いてほしい」という申し出もありましたら、そちらも大歓迎です。



7月 20日(金) / 6件 12,000円

累計 85,000円

多額の寄付を有難うございました。

高須康有/暑中お見舞い申しあげます。橋本さん、ニコニコ御苦労様です。西澤民夫/本日のクラブ協議会楽しみにしています。村山公士/珍しくバッジを忘れました。しかも普段はカバンの中に入っているはずの控えも見つかりません。佐藤仁/荒木様のご冥福をお祈りいたします。橋本様ニコニコ御苦労様です。田村昭二/厳しい暑さも一休みで。橋本年男/荒木会員の計報に接しショックを受けています。荒木会員は私の入会の時の面接者でした!!ご冥福をお祈り申しあげます。

出席報告:会員 40名/出席 21名・欠席 19名

ビジター: 村上佳子 (ニュージーランド オークランド)
計 1名 (敬称略)

●次回予告/ 2012年 8月 3日(金) 第1219例会

卓話予定: ピアニスト 泉晶子氏による
ピアノコンサート

第2回クラブ協議会「会員増強・維持について」

[日時] 2012年7月20日(金) 13:10~14:30

[場所] ANA インターコンチネンタルホテル東京 地下1階「オーロラ」

[出席者] 尾関、飯島、清水、西澤、尾上、石井、岩上、

吉岡、高須、村山、大日方、橋本、田村、島本

計14名(順不同・敬称略)

1. 会長挨拶：尾関会長

本日のクラブ協議会は「会員増強・維持」というテーマを選びました。クラブ活動を行なっていくにはメンバーがいなければ成り立たない。財政面でもそうですが、クラブの活動、社会貢献にも影響が出てきてしまう。それでは、クラブをどのようにすれば会員増強・維持に繋がるのかご意見をいただきたいと思います。西澤委員長は、多くの方を紹介していただいているので、その実力とネットワークの広さから増強委員長をお願いしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2. 本日のテーマについて：西澤増強委員長

ロータリー会員数の全世界的なデータ、当クラブの入会・退会者について調べました。全世界的には、ロータリーの人数は5年前が1,224,168人、現在が1,22,587人と1,500名位増えています。クラブ数は5年前が32,943クラブ、現在が34,256と1,300位増えています。具体的に日本は、1ゾーン、2ゾーン、3ゾーンとあり各3,000人位減っています。増えているのは、インドなどアジアです。ヨーロッパは経済を反映して減っている。もう1つのお配りしている資料を見ていただくと、これは赤坂RCの会員の増減についてです。創立当時は25名からはじまり、現在40名です。ピークが1993年～1995年の70名で、70名で頭打ちになってしまっています。これは、70名位が丁度よいとして自分で規制してしまったのかもしれません。2003・2004年度に麻布RCの創立がありますが、これが人数に直接影響してはおりませんが、そこから元気がなくなり人数が減少しております。2007-2008年に休会制度をつくり力が抜けてきた感じがあります。現在休会が5名おりますが、それを気にせずに増やしていくにはどうしたらよいか。本日も会長から新会員を4名ということで、スピーチをお願いしておりましたが、はじめはOKと言っておりましたが、全員、仕事が忙しいということで、来ておりません。最後の資料で、退会者の退会理由がありますが、これは参考までに表面上の理由をまとめました。私からの説明は以上です。

飯島幹事：次に本来なら「赤坂RCに入って」ということで新しい方にお願いしたいところですが、都合がつきませんでしたので、急遽、清水副会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

清水副会長：クラブ協議会は、本来全員出席しても構わないのですが、中核の人が出席すればよいという雰囲気がある。私自身は、クラブ協議会は全員が出席する方向でやっていけばいいのではないかと思う。クラブ協議会は、テーマを決めて、予め話していただく方を決めてお願いするのがよいかと思いますし、今回もそのようになっているとは思いますが、各人プライオリティーの問題で、出席できなくなってしまう。仕事と比べると仕方がないのかもしれないが、ある程度、都合がつけることはできると思うので、ロータリークラブと、もう少しプライオリティーを高くしてお付き合いしていただければいいな、と思います。これを若い方々にどうやったら分かっていただけるかな、と思っています。次の「これから赤坂RC」というところで話そうと思っていたことがあるのですが、ここで少しお話しようと思います。今

から10年前に、ガバナーまたは、初代会長の論文の中に、会員の維持ほど簡単なことはない、と書いてあったのを覚えています。例会が楽しければ、辞めないのだから簡単、と言っております。私も、愉快だということだけではなくて、例会が楽しいことは重要だと思います。私自身よかったですことの1つに卓話があります。普段、接することのできないような方のお話が30分聞けるというのは、入ってよかったですと思う点です。確かに親しい方のお話を聞けるのもいいのですが、役割としては、1ヶ月に1回でもそういう方々のお話を聞けてよかったです、というのがいいと思います。まずは基本にかえってやることが重要、今は基本が出来ていないのではないかと思う。今回も若い方にスピーチをお願いして全員がダメというのは、これが現実だと思います。今1人(島本様)がきましたが、ありがとうございます。まとめますが、会員増強維持ということは、基本にかえってやっていくことも重要だと思います。

飯島幹事：それでは島本さんが来てくださいましたので、プログラム4の「赤坂RCに入って」というところでお話しをお願いいたします。

島本：諸先輩方の前でお話していいものかどうかと思いまして、優良会員でもないのでお話しさせていただいたいいのか定かではありませんが、よろしくお願ひ申し上げます。まず私が入会した経緯ですが、カラオケで一緒になったときに遊びにこない?と誘っていただいたのが最初で、面白い方々だなということで、伺ったのがきっかけです。正直1回、2回来たときは、入会しようとは思っていましたが、入ってみようというきっかけは幾つかあります。1つは、清水さんがおっしゃった通り、私が来たときの卓話が面白かったというがあります。そこは大事だと思います。それから、私の場合は、奉仕活動は大事だとは思いますが、それ以上に、同業の先輩後輩、同業の人とは接点はありますが、違う業種の先輩といった方々にはお会いする機会がなく、リサーチ専門の仕事から、会社のマネージメントという立場になり、幅を広げて、色々な方々にお会いし、お話しをして、自分に吸収し、幅を広げたいなと思うようになり、そのタイミングが一致したことが理由です。会員増強についてですが、私自身、何人か頭に浮かぶ人がおりますし、先日も1人ゲストに呼びましたが、誘いにくい理由として、私の年代の人は仕事が忙しく、なかなか奉仕というところまで気持ちの余裕が持てないのがあります。先日つれてきた友人も専門馬鹿にならないためにも、幅を広げたいと思っているというので、入会を勧めたところ、8月までは金曜のお昼は予定が入ってしまっているとのことで、入るなら9月からということでした。私が思う会員増強ですが、1つは、私たち年代の口コミが大事なような気がします。とはいっても、日本人ですから目上の人には気後れしてしまう部分があります。色々な世代がいれば、私より下の世代がいれば入りやすいというのもあると思いますし、関さん、開発さんなど私たち世代が、責任をもって口コミで増やしていくことが大事。あと1つは卓話も大事だと思います。私自身出席率は悪いが入ってよかったですと思っておりますので、これからは、私たち世代の口コミと卓話が大事だと思います。

田村：資料を見て、入会者と退会者の人数が凄いな、と改めて思いました。どうして辞めたのだろう、どうして入ったのだろうと、色々なことがあったんだな、と思いました。私も入って11年になりますが、最近やっと例会に出てこられるようになりました。ロータリーについ

て少し考えるようになりましたが、会員増強となると、サラリーマンですと会社の理解度が足りないと会費がでない、仕事が忙しく例会にでられないということが出てくる。仕事を辞めてからとなると、職業奉仕などを考へると会社に入っていないとロータリーに入りにくいということもある。しかし、団塊世代が多い時代でもありますので、増やしていければと思います。今 40 名となってしまいましたが、組織でも、地域でも、そこに居る人の 3 分の 1 がしっかりしていると、その組織は成長し続けるといいますから、このクラブでいうと 12 名いれば、大丈夫ということです。今ここに 14 名いるので、大丈夫です。この 14 名が核になって増やしていくということが大事。核になる皆様が辞めないで最後まで頑張るという、私も是非入れていただいて、継続維持をするため、頑張っていくことが大事だと思います。これが、これから赤坂ロータリーだと思います。

大日方:斬新な話をいたします。資料を見ていましたら、最初の 5 年は 49 人入会し、残っているのは 3 名と休会の渡部一元さん。次の 5 年は 43 人入って 2 人しか残っていない。次に 39 人入って 29 人残っている。そこに今賑やかな方が沢山いる。最初の 5 年で 4 名、次の 5 年で 2 名しか残っていないのは異常です。結果として、古い人を大事にしていないところがあると思います。他のクラブは、もう少し古い人が残っている。これは感想です。では、会員維持についてお話しします。会員維持は、過去のことを忘れて、もっと大胆に新しいことをやらないとダメかな、と思います。何をしたら良いか、例えば、1 ヶ月例会に出てこないと、本人は、出る気力を失わっていく。理由は色々あると思いますが、病気は別にして、忙しい、何となく行くのがかったるいなど、あると思います。一番多い理由が忙しいということですが、1 ヶ月でないと出る気力を失っていくのが普通だと思います。ですから、職場訪問をする。職場訪問隊なんかを作つて、1 ヶ月出ない人は職場訪問をする、というのがいいと思います。親睦のつもりでいつでもダメです。仕事の相談をする。その人の仕事をよく理解し、自分のことも紹介する。これはロータリーでは禁句のようなことを言わっていましたが、仕事をやらないとダメです。行って、ただお酒飲みましょう、というのではかたるい。仕事を話を、これを交代でやつたらいいと思います。これをやると、引き止めになると思います。例会や火曜会で、田原総一朗さんのように、いいテーマのときに、出てきてくださいというのもありますが、今までやってなかつたことをやるということで、職場訪問をやるというのは私の提案です。それから、もう 1 つクラブ活性化は、例会充実、親睦もありますが、社会奉仕を皆で取り組むこと。社会奉仕というより社会貢献を皆でできないか、ということだと思います。何か地域で社会貢献できないかということを皆でアイデアを出し合い考える、という雰囲気を作りたい。奉仕が企画ものみたいになっておりますが、皆で考えることが大切だと思います。

飯島幹事:職場訪問のお話しがでましたが、皆で助け合うことだと思いますので、これは大事にしていっただいいと思います。

村山:私は増強の話が苦手なのですが、こういう場でご指名もありますのでお話しします。なぜ苦手かといいますと、まだ 1 人も入会者を紹介していないからです。私が入会するときに、職場で入るようにということで入ったことから、勧誘して入るという仕組みを意識していなかつたことがあります。どちらかというと、自分が幹事や会長をやるようになって、この仕組み



を意識するようになりました。今までの入会退会者の人数を数えましたら、入会者 195 名、今 40 名ですので、退会者は大雑把にいうと 150 名です。5 分の 4 の退会ということになります。これを考えると退会を 10% 減らせれば、20-30 人は 20 年の中で残ることになっていた。ですから今会員は、40 名に対し 60 名に増やすことになる。退会を防止することが大事だと思いますので、先ほど大日方さんからの職場訪問の話がありました。これは大事だと思います。クラブに入ったときに感激したことは、このクラブ自身にも大会社の社長など著名な方が多く、ロータリーじゃないとお付き合いできない方に接することができたことが大きかったし、役にたつたと思います。さらに、地区の仕事をするとさらに、これが拡大する。つまり自分がロータリーにいるという意識をもてることが役にたつました。私がロータリーに入ったときにいた東放学園は、職員が 100 名の組織です。そのとき会社の中にロータリアンが 10 名おりました。なぜ 10 名もいたかというと、斎藤というものがおり「ロータリーに入って幹部教育をしてもらうんだ」という発想でした。ある意味ロータリーを利用していたところがありました。ロータリーのやり方を会社に持ち込んでいたところもありました。仕事のことをロータリーに持ち込んではいけない、と言われておりますが、これは別の意味だと思います。同業がいると問題が出てくるため避けようということだと思うのですが、参考になる考え方をロータリーの中でやろう、全く異分野の人が一緒に仕事をやろうというときは接点になり、ロータリーは最高の場所だと思う。ロータリーを位置付けなおすともいいと思います。増強の話ですが、これをやれば必ず増強するといった決め手はなくて、今までやってきたことを地道にやるしかないと思います。私などはリタイヤしていることからも難しいので、若い方に頑張っていただきたいと思います。

尾上:吉岡年度のときに地区の会員開発委員会にておりまして、千代田グループをはじめ、他のクラブの会議へ出させていただき、色々な意見を聞いてきました。会員増強に関して特効薬はないとのことです。では、どういったことを心掛けているかというと、会員の危機意識、会員が入らないことにより退会する方もいるので、各自が自分達のクラブのことを思って危機意識をもたない限り会員増強は無理、ということは皆さん盛んに言っておりました。具体的な方法はあると思いますが、私たちは 60 歳を過ぎると交友関係も限られてきてしまうので、40 代 50 代は交友関係は広いですし、本気でやつていただければ 1 人でも 2 人でも入れができると思うので、40 代 50 代に頑張っていただきたいな、と思っている次第でございます。維持については、当クラブは入会 3 年未満で退会する人が多い。これは我々メンバーの責任でもある。きちんと情報を伝えていないため、ロータリーのことを判らないまま、面白くない、何

やっているかわからない、といった形でやめていいてしまう。維持に関して特効薬はあると思います。お辞めになる方は、例会欠席が多くなる。連絡を積極的にとっていないこともある。大日方さんが言った職場訪問といった形でも、声をかけていただくことで、とどまっていたのだと思います。

石井：私が入ったばかりの時、例会は緊張しておりまして、入って2年くらいで辞めようと思っていましたが、吉岡さん、尾上さんとだんだんと仲間ができて、ここまできました。先ほどお話しがあった卓話ですが、月に1回は核の方をお呼びしたいな、と思っています。それには、卓話の方へお支払いするお車代が2万円では、少ないと思うのですが、今後の課題になるかと思います。卓話で集客を図れればと思います。

岩上：資料を見て感じたことは、退会された方は、病気とか転勤といったことは別について、お友達を誘って、どなたも紹介されていない方だと思います。中央 RC は、入会してすぐにお友達をお誘いし、入会させることで、あのような大きなクラブになっていると聞いています。私が入会したときは、70代の方が多く、年齢層の高いクラブだと思いました。老年・熟年・中年という3層のクラブだと言われていました。世代的に色々な世代がいて楽しいクラブだと入会当時感じました。私自身入会して間もなく尾上さんをお誘いしまして、自分が人を誘うと辞められないと思いました。誘った以上、先に自分が辞めるわけにはいけないという責任感からです。ですから、以前からやっておりますが入会半年、1年未満の方には、お友達を紹介してくださいということを進めていったらいいと思います。最近はそういう風潮が薄れています。一人では寂しいでしょうから、お友達を誘って自分たちで楽しいクラブを作っていましたらいかがでしょうか、ということで増強していったらいいと思います。また、卓話のことでは大変苦労しておりますが、今いろいろなところに行って卓話者をゲットしようとしています。例会の出席者が少なく、やっていても張合いがなくなってしまうこともあります。最近はうるさく言いませんが、ロータリーは出席の義務というのがあり、しっかり守るべきところは守るべきだと思います。私は出席と会員増強は直結していると思います。欠席の方は、大日方さんの話ではありませんが、会社まで行ってしまうということもあります。

高須：昨年度は、石井委員長が頑張ってくれて5名入会いたしましたが、8名も退会してしまい申し訳ないなと思っております。過去に増強について話しておりますが、岩上さんがおっしゃったように、出席率が本当に悪いなと思います。例会はもちろんですが、他のイベント事も委員が苦労してお声がけしてやっている状況です。なぜ、ここまで委員長以下の委員の方々が苦労しないと、集まりが悪いのかなと思ってしまいます。呼びかけることも大事ですが、なぜ「出ようか」というムードにならないのかと。これらの方はいつも常連メンバーだけというのを変えていくことが必要だと思います。ガバナー月信に出席率がでておりますが、当クラブは千代田グループのなかでも下から数えたほうが早いくらいの出席率になっております。マイクアップをすることを入会するときに伝達できていないかと思います。他のクラブに行けば、仲間も増えるし、それなりに刺激になるし、入ってよかったですということになります。増強についても、心がけていかないといけないな、と思っております。

私は、仕事の関係から入りましたが、関西においてましたので、東京には友人がおりませんでしたので、ロータリーに入り、悪友もでき、よかったですと思っております。仕事プラス社会勉強をさせていただいたのはロータリーだと感謝しております。今、島本さんがこられましたし、今日は藤井さんがソングリーダーをやらされましたし、参加していただき盛り上げていくことで活気が出てくるのではないかと思います。是非尾閑年度、会員増強で盛り上げていかなければと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

橋本：私は9年目になりますが、これはとても良い友人が出来たことで続けられたと思います。今仕事はサポート役になりましたので、ロータリーを楽しみの一つとなつておらず、あと10年くらいはロータリーライフを送ろうと思っています。昨年の会員増強副委員長だったときに、東京南 RC の和田さんに会員増強について卓話をお願いいたしました。その時にお配りした資料に、東京南 RC の「入会のしおり」というのがあり、新会員に対するカウンセラーを付ける、全員参加の精神で1会員1名紹介できるような努力をしていく、ゲストとして招待していくことからスタートしてやっていく、維持については、親睦と同時に相互扶助を強化していくことを実際に実行することが大事だといってあります。当クラブも具体的な「入会のしおり」を作成することも考えていいのではと思います。

清水：副会長として初めて閉会の挨拶をさせていただきます。非常に嬉しくおもっております。冗談はさておいて、ロータリーは問題意識を大切にしており、会議に出席していること自体を嬉しく感じる。例えば、会員増強を念頭に置いている、石井さんでしたら卓話について考えているなど。私は入会して2、3年でプログラム委員長をやり、このときは迷ったのを覚えています。その当時ナノテクノロジーの大泊さんという方に来ていただきましたが、この方は、今は言ってもいいと思いますが、当時日本のノーベル賞の推薦人です。本当に個人的な形でお願いしました。去年は椎名さん（IBM 会長）に来ていただきましたが、この方には3年位前からお願ひしていました。今だったら来てくれそうのが、白井さん（早稲田大学の元総長）です。家族ぐるみのお付き合いで、総長のときから卓話を頼んでいますが、時間がなくて難しかったのですが、今は総長をやめましたので時間の都合を見てお願いしてみようかと思います。会員増強の1つとして卓話が、これだけ話題になっていますから、お車代については考えなくてはならないと思います。ロータリークラブをやっていくためには、お金と時間が必要。時間については、お昼はどうせ食べるのだからということで集中的に管理するという方法もある。お金は結構かかります。私は入会してから個人で出していますが、だいたい年間50万～100万かかる。10年やると1,000万かかる。それからマイクアップについては、南 RC では、経験の長い方が経験の浅い方を他のクラブへお連れして、マイクアップについて実際にやってみるということを行っています。当クラブも南 RC にならってもいいかと思います。

尾閑会長：本日は、お一人お一人、素晴らしいアドバイスをいただきまして、ありがとうございます。ロータリーの愛、お互いの持っているものを出し合って頑張ろうよ、というのを感じ、今年の会長にならしていただいて幸せだと思っております。本日は、貴重なお時間をありがとうございました。